

学位論文作成の手引

以下に述べる事項は、修士（薬科学）及び博士（薬学）の学位を受けるために必要な学位論文作成の手引をまとめたものであり、神戸薬科大学大学院学則、学位規程並びに学位規程施行細則の中から関連する事項を抜粋し、それにこれまでの慣例などを総合して作成したものである（文中の様式番号は、学位規程施行細則に記されている番号である）。

1. 修士論文作成の手引

- (1) 資格：神戸薬科大学大学院修士課程に2年以上在学し、合計30単位以上を修得した者。
- (2) 修士学位論文の提出：修士学位論文の審査を受けようとする者は、定められた日（1月下旬の予定）までに学位論文（様式I-2）及び論文内容の要旨（様式I-4）を主査、副査に提出しなければならない。
- (3) 口述発表：論文審査願提出に先立ち、修士学位論文の内容を修士論文発表会（2月中旬に開催予定）において口述発表をしなければならない。口述発表の時間は原則として1人につき10分以内、討論時間は8分以内とする。発表に先立って定められた日（2月初旬の予定）までに講演要旨の原稿（様式I-3）を教務課に提出しなければならない。

様式I-3 修士論文発表会の講演要旨

所定の用紙（A4版両面コピー、横書き、ワープロで作成するときには、白紙に原則として横35～40字、縦30～40行で記すこと。）に下図のように記すこと。4ページ以内。

〔例〕

<p style="text-align: center;">(修士論文発表の講演要旨)</p> <p style="text-align: center;">○○○○の合成に関する研究</p> <p style="text-align: center;">薬品化学 神戸花子</p> <p>(緒言)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">1</p>	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">文 献</p> <p>1),</p> <p>2),</p> <p style="text-align: center;">4</p>
--	---

(注) 表題の上に必ず、(修士論文発表の講演要旨)の文字を入れること。

- (4) 修士学位論文審査願の提出：修士学位論文の審査を受けようとする者は、論文審査料10,000円を経理課に納入するとともに、次の書類を教務課に提出しなければならない。

修士学位論文審査願（様式 I - 1）…………… 1 通
学位論文（様式 I - 2）…………… 3 部
論文内容の要旨（様式 I - 4）……………30部

（うち、3 部は学位論文のファイルにとじて提出すること。）

論文目録（様式 I - 5）…………… 1 通
履歴書（様式 I - 6）…………… 1 通
参考論文（別刷り又はコピー）……………各 1 部

様式 I - 1 修士学位論文審査願

指導教員 ㊤
修士学位論文審査願
年 月 日
神戸薬科大学長 様
氏名 ㊤
このたび修士（薬科学）の学位を受けたく下記題目の学位論文に論文内容の要旨、論文目録、履歴書及び学位論文審査料10,000円を添えて提出しますので審査くださるようお願いいたします。
記
学位論文の題目

備考 1 論文題目が外国語の場合は和訳を付記すること。

2 用紙はA 4 版上質紙とすること。

様式 I - 2 修士学位論文

A 4 版原稿用紙に記し（ワープロで作成するときには白紙に原則として横35～40字、縦30～40行）、両面コピーとし、A 4 版のファイルにとじる。ファイルの表紙並びに背中に論文題目、研究分野、氏名を記すとともに、論文の初めに表紙及び目次をつけること（原稿用紙又は白紙、下図参照）。論文は自筆、コピーいずれでもよい。

欧文で論文を書く場合には、A 4 版用紙に横書き、ダブルスペースでタイプで記すこと。その他は和文の場合と同じ。

〔例〕 〈A 4 版ファイル〉

<p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>関</p> <p>す</p> <p>る</p> <p>研</p> <p>究</p> <p>に</p> <p>2013</p> <p>薬</p> <p>品</p> <p>神</p> <p>戸</p> <p>化</p> <p>学</p> <p>花</p> <p>子</p>	<p>○○○○の合成に</p> <p>_____</p> <p>関 す る 研 究</p> <p>_____</p> <p>2 0 1 3</p> <p>薬 科 学 専 攻</p> <p>_____</p> <p>薬 品 化 学</p> <p>_____</p> <p>神 戸 花 子</p> <p>_____</p>
--	---	---

表紙及び目次

<p>○○○○の合成に</p> <p>_____</p> <p>関 す る 研 究</p> <p>_____</p> <p>2 0 1 3</p> <p>薬 科 学 専 攻</p> <p>薬 品 化 学</p> <p>神 戸 花 子</p>	<p>目 次</p> <p>総論の部</p> <p>1. 緒 言.....(1)</p> <p>2. ×××.....(3)</p> <p>3. △△△.....(7)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>実験の部</p> <p>1. ○○○.....(≒)</p> <p>2. ×××.....(≒)</p> <p>.....</p>
--	--

(注) 目次の総論の部、実験の部に分けているのは一例であり、特にこの形式にこだわる必要はない。

様式 I - 4 論文内容の要旨

I - 3 と同じもの。A 4 版両面コピー（ワープロで作成するときには、白紙に原則として横35～40字、縦30～40行で記すこと。） 4 ページ以内。

〔例〕

(論文内容の要旨)

○○○○の合成に関する研究

薬品化学
神戸花子

(緒言)

.....
.....
.....
.....

1

.....
.....
.....
.....

文 献

1),

2),

4

(注) 表題の上に必ず、(論文内容の要旨) の文字を入れること。

様式 I - 5 論文目録 (A 4 版)

〔例〕

<p>論 文 目 録</p> <p>薬品化学</p> <p>神 戸 花 子</p> <p>1. 主論文： ○○○○の合成に関する研究</p> <p>2. 参考論文：</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>(注) 1. 参考論文のないときは、(1)なしとする。なお、修士論文のときの参考論文とは、主論文の内容を学会誌等に発表したものを含む。</p> <p>2. 論文題目が外国語のときは和訳を付けること。</p> <p>3. 参考論文は、題目、雑誌名、巻、(号) ページ○～○ (年) のように記すこと。</p>

様式 I - 6 履 歴 書

A 4 版横書きとし、氏名（ふりがな・押印不要）、生年月日、本籍地（都道府県名のみ）、現住所、学歴（高卒以上）、職歴の順に記し、写真の添付は不要。なお、市販履歴書用紙を使用してもよい。

- (4) 論文審査及び学位の授与：上記により修士学位論文が提出されたときは、大学院教授会は審査委員会（主査 1 名、副査 1 名）を設ける。審査委員会は論文の審査及び最終試験を行い、その結果を大学院教授会に報告する。大学院教授会は審査委員会の報告に基づいて審議し、学位授与の可否を議決により決定する。
- (5) 学位の授与：学長は、上記の決定に基づいて学位を授与すべき者には下記のような修士（薬科学）の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨通知する。修士の学位記授与は、通常大学院修了式（学部学生の卒業式と同じ日に行われる）において行われる。

<p>修第 号</p> <p>学 位 記</p> <p>(本籍 (都道府県名))</p> <p>氏名</p> <p>年 月 日生</p> <p>本学大学院薬学研究科修士課程 において所定の単位を修得し学位 論文の審査及び最終試験に合格し たので修士(薬科学)の学位を授 与する。</p> <p>論文題目</p> <p>年 月 日</p> <p>神戸薬科大学長</p> <p>氏 名 ㊦</p>
--

2. 課程博士論文作成の手引

(1) 資格：神戸薬科大学大学院博士後期課程に3年又は博士課程に4年以上在学し、合計30単位以上を修得した者（これらは修士の学位を得るための資格で、前記1の(1)を参照）。また、学位論文の基礎となる報文（審査委員会のある学術雑誌に印刷公表（電子ジャーナルでの公表を含む）されたもの、または掲載許可の証明のある原報）が2報以上あり、その中の1報以上は欧文の報文であること。ただし、印刷公表（電子ジャーナルでの公表を含む）されたもの又は掲載許可の証明のある報文が1報（欧文）で、あと1報以上が学位論文審査願を提出した日から1年以内に印刷公表（電子ジャーナルでの公表を含む）又は掲載許可が得られると大学院教授会が判断した場合も認める。

(2) 総説講演：博士後期課程1年次及び2年次生及び博士課程1年次、2年次及び3年次生として在籍する学生は、毎年12月に総説講演を行わなければならない。講演に先立って指定した日までに講演要旨の原稿を教務課に提出しなければならない。講演要旨の形式、講演時間などは、次の口述発表と同じとする。

上記の(1)、(2)の条件を満たしている者が課程博士の学位論文を提出する資格を有する。

(3) 口述発表：論文審査願提出に先立ち、博士學位論文の内容を大学院博士論文発表会（1月下旬の土曜日の予定）において口述発表しなければならない。口述発表の時間は原則として1人につき講演時間は30分以内、討論時間は15分以内とする。発表に先立って定められた日（1月初旬の予定）までに口述発表要旨の原稿（様式Ⅱ-3）を教務課に提出しなければならない。

博士後期課程3年次及び博士課程4年次の学生で、上記の口述発表会をその年度内に行うことのできない者は、当該年度の12月中にその旨大学院薬学研究科主幹に届け出なければならない。この届け出を行った者は、当該次年度以降の7月又は1月に口述発表会を行うことができる。

様式Ⅱ-3 課程博士論文口述発表の講演要旨

所定用の紙（A4版、横書き、ワープロで作成するときは、白紙に原則として横35～40字、縦30～40行で記すこと。）に下図のように記すこと。8ページ以内。

〔例〕

<p style="text-align: center;">(課程博士論文口述発表の講演要旨)</p> <p style="text-align: center;">○○○○の合成に関する研究</p> <p style="text-align: center;">薬品化学 神戸花子</p> <p>(緒言)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">1</p>	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">文 献</p> <p>1),</p> <p>2),</p> <p style="text-align: center;">8</p>
---	---

(注) (1) 表題の上に必ず、(課程博士論文口述発表の講演要旨)の文字を入れること。
 (2) 研究分野の所属(例:薬品化学)を省略してもよい。

(4) 博士学位論文作成及び提出:博士学位論文の審査を受けようとする者は、論文審査料10,000円を経理課に納入するとともに、次の書類を教務課に提出しなければならない。

- 博士学位論文審査願(様式Ⅱ-1) 1通
- 学位論文(様式Ⅱ-2) 30部
- 論文内容の要旨(様式Ⅱ-5) 30部
- 論文目録(様式Ⅱ-6) 30部
- 学位論文の基礎となる報文(別刷り又はコピー) 各3部
- 同上の報文の共著者の承諾書(様式Ⅱ-7) 各1通
- 履歴書(Ⅱ-8、前記Ⅰ-6と同じもの) 1通

(注) 論文内容の要旨及び論文目録は、表紙(様式Ⅱ-4)を各部ごとにつけてとじること。

様式Ⅱ－1 課程博士学位審査願

指導教員 ㊦
博士学位論文審査願
年 月 日
神戸薬科大学長 様
氏名 ㊦
このたび博士（薬学）の学位を受け たく下記題目の学位論文に論文内容の 要旨、論文目録、履歴書及び学位論文 審査料10,000円を添えて提出しますの で審査くださるようお願いいたします。
記
学位論文の題目

- 備考1 論文題目が外国語の場合は和訳を付記すること。
- 2 用紙はA4版上質紙とすること。

様式Ⅱ－2 学位論文

様式Ⅰ－2に準じる。ただし、研究分野の所属（例：薬品化学）を省略してもよい。なお、最低5冊は製本（A4版、横書き）し、表紙及び背中にⅠ－2と同様の記入（研究分野の所属は省略してもよい）したものを提出すること（国会図書館などに納めるため）。

様式Ⅱ－4 論文内容の要旨及び論文目録をとじるための表紙

次のⅡ－5の論文内容の要旨及びⅡ－6の論文目録は、次の表紙をつけて、1部ずつとじ込むこと。

〔例〕（表紙）A4版

○○○○の合成に 関する研究
論文内容の要旨 論文目録
2012
薬品化学 神戸花子

とじる順序

1. 表紙
2. 論文内容の要旨
3. 論文目録

（注）研究分野の所属（例：薬品化学）を省略してもよい。

様式Ⅱ－5 論文内容の要旨

様式Ⅰ－4またはⅡ－3に準じる。4～8ページ以内。表紙の上に必ず（論文内容の要旨）の文字を入れること。

様式Ⅱ－6 論文目録

〔例〕

論 文 目 録	
	薬品化学 神戸花子
主 論 文	
1. 題 目	△△△の化学反応に関する研究（論文題目が外国語の場合は和訳をつけること）
2. 公表の方法、時期	
第1章	○○○の研究
第1節	×××の合成（投稿論文①）
第2節	□□□の合成（投稿論文②）
第3節	◇◇◇の合成（投稿論文③）
第2章	●●●の化学反応（投稿論文④、⑤、⑥）
第1節	_____
第2節	_____
第3節	_____
（注：一つの章で節ごとに投稿論文が異なるときには、上記第1章のように記すが、一つの章全部の投稿論文が共通しているときには、上記第2章のように記す）	
投稿論文①	投稿論文表題 神戸花子、……………（共著者氏名）…………… Chem. Pharm. Bull. 95(8). 9-16 (2011) に掲載。
投稿論文②	投稿論文表題 ……………（共著者氏名）……………、神戸花子 J. Biol Chem.に掲載予定。（または投稿予定）
投稿論文③	…………… （以下同じ）
参考文献	以下上記と同じ書き方
1.	○○○の研究（以下上記と同じ書き方）
2.	……………
（注：参考文献がないときには、1. なしとする）	

（注）研究分野の所属（例：薬品化学）を省略してもよい。

様式Ⅱ－7 共著者の承諾書（A4版）

年 月 日
共著者承諾書
神戸薬科大学長
○○○○ 様
共著者氏名 ④
学位授与申請者△△△△が下記論文を学位論文の一部として使用することを承諾します。
記
1. 著者名（全員）、論文題名、雑誌名、巻（号）、ページ（初めと終り）、（年）
2. ……………
3. ……………

(4) 学位論文審査及び学位授与：前記により博士学位論文が提出されたときは、大学院教授会は審査委員会（主査1名、副査3名）を設ける。審査委員会は論文の審査及び最終試験（提出された学位論文を中心として、これに関連ある科目について口答また

は筆答試問による)を行い、その結果を大学院教授会に報告する。大学院教授会は審査委員会の報告に基づいて審議し、学位授与の可否を議決により決定する。

- (5) 学位の授与：学長は、前記の決定に基づいて学位を授与すべき者には下記のような博士（薬学）の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨を通知する。

氏名 Ⓜ	年 月 日	氏名 Ⓜ	年 月 日生	博第 号 学位記 (本籍(都道府県名))	本学大学院薬学研究科博士 課程において所定の単位を修 得し学位論文の審査及び最終 試験に合格したので博士(薬 学)の学位を授与する 論文題目
神戸薬科大学長					

*あるいは博士後期課程

3. 論文博士論文作成の手引

- (1) 資格：論文博士とは、神戸薬科大学大学院の博士課程を経ない者が、学位論文を提出してその審査及び試験に合格し、かつ専攻学術に関し、神戸薬科大学大学院博士課程を修了して学位を授与される者と同様に広い学識を有することを確認（以下学力の「確認」という）された者に授与される博士（薬学）のことをいう。

まず論文博士の授与を願い出ようとする者（以下学位申請者という）は、具体的には次のような資格を有していることを必要とする。

- ①原則として表1のような研究歴を有すること。ただし、大学院教授会が認めるときはこの限りではない。

表1 学位申請者となるための必要研究歴

	理 科 系 修 士 の 学位を有する者	理 科 系 大 学、旧 制 薬 学 専 門 学 校 卒 業 者	左 記 の 2 項 に 該 当 し ない 者
大学の薬学部又は薬学科及びこれと同等と認められる研究施設	5 年 以 上	8 年 以 上	11 年 以 上

(注) 上表に定める「同等と認められる研究施設」は、下記のとおりとする。

- (1) 薬学に関係ある国公立の研究所等の研究機関
- (2) 財団法人又は社団法人組織による薬学に関係ある研究所等の研究施設
- (3) 薬学に関係ある、十分な研究施設を有する国公立又は私立等の病院
- (4) 薬学に関係のある、十分な研究施設を有する会社
- (5) その他、大学院教授会が適当と認めた機関

②学位申請者は、大学院教授会構成員の推薦（以下この推薦を行った大学院教授会構成員を「推薦教員」という）を得た物でなければならない。

③学位申請者（上記①②の条件を満たした者）は、学位授与願の提出に先立って、外国語（英語）の試験を受験し、これに合格しなければならない。ただし、神戸薬科大学大学院博士後期課程中途退学者については、大学院教授会において、本外国語試験を行わずに合格したものと認めることがある。外国語試験は原則として毎年1月及び7月に行う。受験者は、受験料10,000円を添えて外国語試験受験願（様式Ⅲ－1）を学長に提出しなければならない。

様式Ⅲ－1 外国語試験受験願

指導教員 ㊤ 外国語試験受験願 年 月 日 神戸薬科大学長 様 住所〒 氏名 ㊤ このたび博士（薬学）の学位に必要な外国語試験（英語）を受験いたしたく、よろしく願いいたします。 備考：用紙はA4版上質紙とする。
--

④学位論文の基礎となる報文は、審査委員会のある学術雑誌に印刷公表（電子ジャーナルでの公表を含む）された原報とし、原則として3報以上（そのうち1報以上は欧文の報文であること）あり、少なくとも1報の報文の筆頭著者は申請者であることが望ましい。課程博士の場合とは異なり、論文博士の場合はすべて既に印刷公表（電子ジャーナルでの公表を含む）されたものでなければならず、掲載許可の証明のある報文などは認められないので注意が必要である。

(2) 予備審査願の提出

上記①～④の条件を満たしている学位申請者は次の書類を推薦教員を経て学長に提出しなければならない。書類提出の時期は、3月又は9月の定められた期間とする。

- 予備審査願（推薦教員の印が必要）（様式Ⅲ－2） …………… 1通
- 学位論文*（様式Ⅲ－3） …………… 4部
- 口述発表要旨の原稿（様式Ⅲ－4） …………… 1通
- 論文目録（様式Ⅲ－7） …………… 4部

学位論文の基礎となる報文（別刷り又はコピー）……………各4部
同上の報文の共著者の承諾書（様式Ⅲ－8）……………各1通
履歴書（様式Ⅲ－9）……………1通
各所属長の研究歴証明書（様式Ⅲ－10）……………各1通

- （注）(1) 学位論文の基礎となる報文（参考論文を含む）の数は、上記(1)－④の条件を満たしていなければならない。ただし、参考論文については、別刷り又はコピーの提出は必要ない。
- (2) *予備審査願提出時学位論文は4部でよいが、審査委員会による予備審査終了時には、修正された学位論文を大学院教授会に30部提出すること。
- (3) 様式Ⅲ－3は様式Ⅱ－2、様式Ⅲ－4は様式Ⅱ－3、様式Ⅲ－7は様式Ⅱ－5、様式Ⅲ－8は様式Ⅱ－7、様式Ⅲ－9は様式Ⅰ－6に準じるので、それぞれ対応するところを参照のこと。なお、本人の写真の添付が必要。

様式Ⅲ－2 予備審査願（A4版横書き）

指導教員 ㊦
予 備 審 査 願
年 月 日
神戸薬科大学長
様
住所〒
氏名 ㊦
神戸薬科大学学位規定施行細則第19条
により、学位論文の予備審査を受けた
く、所定の書類を添えて提出しますか
ら、よろしく願いいたします。

様式Ⅲ-10 各所属長の研究歴証明書 (A4版上質紙)

<p style="margin: 0;">年 月 日</p> <p style="margin: 0;">神戸薬科大学長</p> <p style="margin: 0;">様</p> <p style="margin: 0;">○○○研究所長</p> <p style="margin: 0;">△△△△印</p> <p style="margin: 0;">このたび貴学に対し博士(薬学)授与の申請をしている×××君は、当所において下記の通り研究に従事していたことを証明します。</p> <p style="margin: 0;">記</p> <p style="margin: 0;">1. 研究題目：○○○○に関する研究</p> <p style="margin: 0;">2. 期 間： 年 月 日から</p> <p style="margin: 0;">年 月 日まで</p>

(注) 研究の場所が2カ所以上にわたっている場合は、それぞれの所属長よりの証明書が必要。

- (3) 口述発表：上記の予備審査願を提出した者は、大学院教授会の指定する日（原則として3月又は10月）に学位論文の内容を口述発表しなければならない。口述発表の時間は原則として1人につき講演時間は30分以内、討論時間は10分以内とする。口述発表の講演要旨の原稿は前記で提出済み。
- (4) 予備審査：上記により予備審査の願いが提出されたときは、大学院教授会は審査委員会（主査1名、副査3名）を設ける。審査委員会は(2)の提出書類、(3)の口述発表の結果などを基にして予備審査を行い、その結果を大学院教授会に報告する。この報告に基づいて大学院教授会は、正式の学位授与願を受理するか否かを審議決定する。受理が可となった者にはその旨学位申請者に通知する。
- (5) 学位授与願の提出：上記で可の通知を受けた者は、論文審査料300,000円を経理課に納入するとともに、次の書類を教務課に提出しなければならない。

学位授与願 (様式Ⅲ-11)	1 通
学位論文* (様式Ⅲ-3)	30部
論文内容の要旨** (様式Ⅲ-6)	30部
論文目録 (様式Ⅲ-7)	30部
履歴書 (様式Ⅲ-9)	30部

(注) (1) 様式Ⅲ-3は様式Ⅱ-2、様式Ⅲ-6は様式Ⅱ-5、様式Ⅲ-7は様式Ⅱ-6、様式Ⅲ-8は様式Ⅱ-7、様式Ⅲ-9は様式Ⅰ-6に準じるので、それぞれ対応するところを参照のこと。なお、本人の写真の添付は不要。

(2) *学位論文(様式Ⅲ-3)は、予備審査終了時に提出した修正学位

論文と内容に変更がない場合は改めて提出しなくてもよい。ただし、最低5冊は製本（A4版横書き）し、表紙及び背中に様式Ⅰ－2と同様の文字を入れること（例：薬品化学の文字を省略してもよい）。印刷したものを提出するときにA4版横書きとする。

- (3) **予備審査願提出時に提出したものと内容に変更がない場合には同一のものを提出しても差し支えない。
- (4) 論文内容の要旨は、論文目録、履歴書と一緒に一部ずつ表紙（様式Ⅱ－4に準じる）を付けてとじ込むこと。

様式Ⅲ－11 論文博士学位授与願

推薦教員 ㊤
学位授与願
年 月 日
神戸薬科大学長
様
住所〒
氏名 ㊤
このたび博士（薬学）の学位を受けたく、下記題目の学位論文に、論文内容の要旨、論文目録、履歴書及び学位審査料300,000円を添えて提出しますのでよろしく願いいたします。
記
学位論文の題目

- 備考1 論文題目が外国語の場合は和訳を付記すること。
- 2 用紙はA4版上質紙とする。

- (6) 学位論文審査、最終試験及び学力の確認：上記の学位授与願が提出された場合、審査委員会（上記の予備審査時の審査委員会と同じ）は論文の審査及び最終試験（提出された学位論文を中心として、これに関連ある科目について口答または筆答試問による）を行うとともに学力の確認を行い、その結果を大学院教授会に報告する。学力の確認は、表2に従った試問を行う。大学院教授会は審査委員会の報告に基づいて審議し、学位授与の可否を議決により決定する。

表2 学力の確認に関する試問

区 分	行 う べ き 試 問
理科系修士の学位を有するもの	①専攻及び関連学術に関する総説講演とこれに対する試問
理科系大学、旧制薬学専門学校卒業生	①上記と同じ
上記2項に該当しないもの	①上記と同じ ②基礎学力確認のための口答又は筆答試問

- (7) 学位の授与：学長は、上記の決定に基づいて学位を授与すべき者には下記のような博士（薬学）の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨を通知する。学位記の様式は下記の通りとする。

論博第 号 学位記 (本籍(都道府県名)) 氏名 年 月 日生 本学に学位論文を提出しその審査及び試験に合格しかつ所定の学力を有するものと認めためたので博士(薬学)の学位を授与する 論文題目 年 月 日 神戸薬科大学長 氏 名 ㊦
--